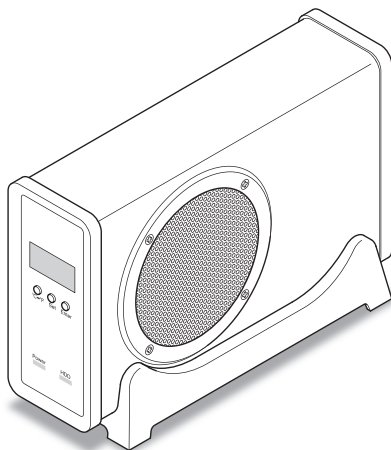


四代目 冷却心系 HDD 検温番 USB3.0

CLS35U3BKF6G
CLS35U3SVF6G
取扱説明書



CENTURY

もくじ

ごあいさつ	4
--------------	----------

はじめに	5
-------------	----------

■安全上のご注意	5
■制限事項	10
■ご使用の前に	11

製品情報	12
-------------	-----------

■製品仕様	12
■製品内容	13

各部の名称とはたらき	14
-------------------	-----------

■本体前面／側面	14
■パワー/アクセスLED表	14
■本体背面	15

対応情報	16
-------------	-----------

■対応HDD	16
■対応OS	16
■対応機種	17

使用上のご注意	18
----------------	-----------

HDDの組み込み方法	19
-------------------	-----------

■HDDを接続する前に	19
■HDDの取り付け方	20

PCとの接続方法	27
----------	----

電源の投入方法	28
---------	----

電源連動機能について	29
------------	----

温度表示/冷却ファン回転数表示機能について	30
-----------------------	----

- 液晶パネルの説明..... 30
- 温度アラームの設定..... 31

トラブルシューティング	32
-------------	----

FAQ(よくあるご質問とその回答)	36
-------------------	----

巻末付録

巻末付録1

- 領域の確保とフォーマット 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順 巻末付録10
- MacOSでの使用方法 (MacOS 10.6~10.10まで) 巻末付録12
- MacOS 10.11以降でのフォーマット方法 巻末付録16

サポートのご案内

巻末付録22

ごあいさつ

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ございます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載
されています。



ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全
にお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用く
ださい。

はじめに

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
 注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

 注意指示事項	 禁止(禁止行為)
 分解禁止	 濡れた手での接触禁止
 水濡れ禁止	 電源プラグを抜く
 接触禁止	 ケガに注意

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

警告



煙が出る、異臭がする、異音がする場合は使用しない

煙が出る、異臭がする、異音がするときには、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異常状態のまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をしないでください。

内部に手を触れると、故障、火災、感電の原因となります。

点検、調整、修理は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。



機器の内部に異物や水を入れない

機器の内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

異物が入ったまま使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、故障、けがの原因になることがあります。



電源の指定許容範囲を超えて使わない

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。

定格を越えた電圧での使用は、故障、火災、感電の原因となります。

 **警告****電源コード、接続コードに関する注意事項**

以下の注意点を守ってご使用ください。

被膜が損傷したり、故障を招くだけでなく、ショートや断線で加熱して、火災、感電の原因になることがあります。

- 電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
- コードの上に機器本体や重い物を置かないでください。
- ステープル、釘などで固定しないでください。
- 足を引っかけるおそれのある場所には設置しないでください。
- 電源プラグはホコリや水滴がついていないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
- ぐらぐらするコンセントには接続しないでください。

**雷が鳴り出したら機器に触れない**

雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、雷が鳴りだしたら電源コードやケーブル、機器に触れないでください。感電の原因となります。

**ぬれた手で機器に触れない**

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

**体に異変が出たら使用しない**

体に異変が出た場合は、ただちに使用をやめて、医師にご相談ください。

機器に使用されている塗料や金属などによって、かゆみやアレルギーなどの症状が引き起こされることがあります。

注意



設置場所に関する注意事項

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など、切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

 **注意****長期間使用しない場合は接続コードを外してください**

長期間使用しない場合は、安全および節電のため、接続コードを外して保管してください。

**機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください**

移動する際は、必ず接続コードを外して行ってください。
接続したままの移動は故障の原因となります。

**小さいお子様を近づけない**

小さいお子様を機器に近づけないようにしてください。



小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります。

**静電気にご注意ください**

機器に触れる際は、静電気にご注意ください。

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

制限事項

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品はSATA HDD専用です。パラレルATA(IDE)HDDは使用できません。

ご使用の前に

- 本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 「Mac」は Apple Inc. の登録商標です。
- 「Windows」は Microsoft Corporation の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。



静電気や水分は機器を破壊する原因となりますので、SATA機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

製品情報

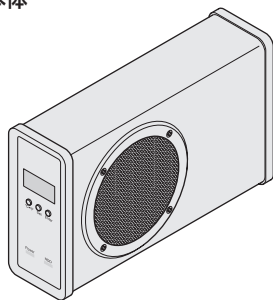
製品仕様

※本製品にHDDは含まれておりません。

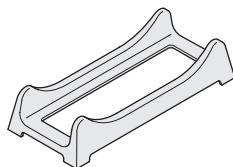
商品名	四代目冷やし系HDD検温番USB3.0	
型番	CLS35U3BKF6G(ブラック) CLS35U3SVF6G(シルバー)	
インターフェイス	デバイス側	SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps
	ホスト側	USB3.0
冷却ファン	8cmファン ~1800rpm ノイズレベル21.5dB(A) [*] [*] ファン単体での計測値	
USBコネクタ形状	Standard Bタイプ	
本体寸法	幅73mm x 高さ132mm x 奥行195mm(スタンド含む)	
重量	約530g(スタンド含む、ドライブ含まず)	
温度・湿度	温度5℃~35℃・湿度20%~80% (結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)	
電源	AC入力	100V~240V 0.8A
	DC出力	12V 2.0A

製品内容

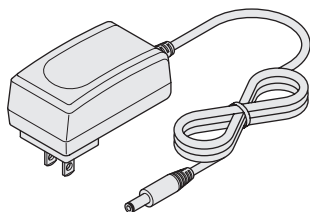
□ 本体



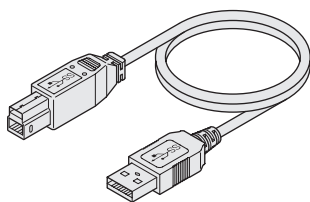
□ 専用スタンド



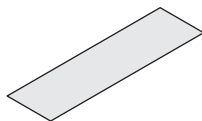
□ 専用ACアダプター



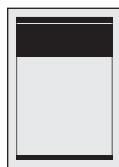
□ HDD固定用ネジ (4本)

□ 専用USBケーブル
(Standard A ⇄ Standard B)

□ 温度センサー貼付け用テープ



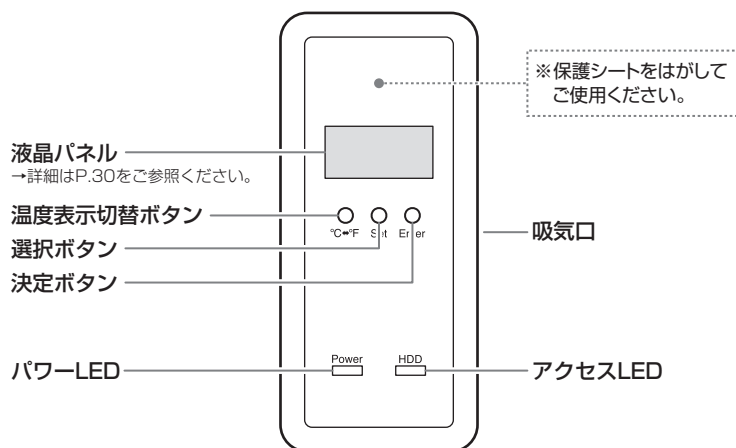
□ 取扱説明書/保証書(本書)



各部の名称とはたらき

本体前面／側面

※図の向きでご使用ください。横向き等の設置はできません。

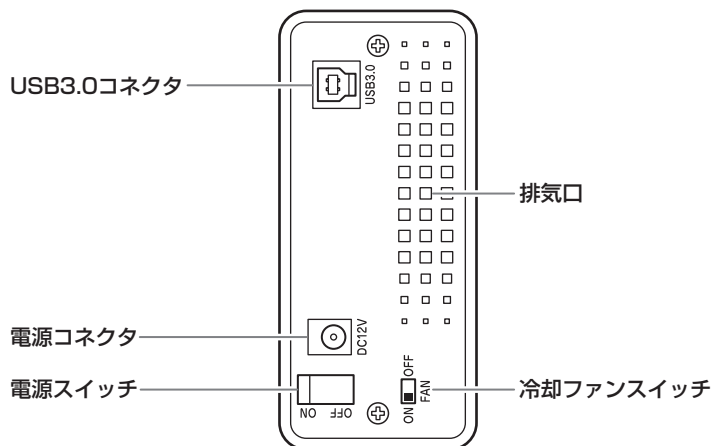


パワー/アクセスLED表

		LEDの状態		
		パワーLED	アクセスLED	
			USB3.0接続時	USB2.0接続時
本体動作	通電時	赤点灯	緑点灯	青点灯
	ディスクアクセス時	赤点灯	緑点滅	青点滅
	電源連動時	赤点灯	消灯	消灯

本体背面

※図の向きでご使用ください。横向き等の設置はできません。



対応情報

対応HDD (2017年12月現在)

■3.5インチ SATA HDD

(SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps)

※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) 仕様のHDDは接続できません。

※本製品はSATA 6GbpsのSATA HDDが接続可能ですが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はそれぞれのインターフェイスの上限となります。

※12TBまでのHDDで動作確認を行っております(2017年12月現在)。

対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。

※出し入れの際、HDDに微細な傷がつく場合があります。

あらかじめご了承の上、ご使用頂きますようお願いいたします。

対応OS (2017年12月現在)

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8.1以降またはMacOS 10.8以降のOSが必要となります。

【Windows】

■Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7

※Windows RT、Starter Edition、Embedded、Enterprise、mobileは動作対象外となります。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にしてご使用ください。

最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

【Mac】

■MacOS 10.13.1/10.12.6/10.11.6/10.10.5/10.9.5

対応機種

※UASPでの動作には、UASP対応USBホストインターフェイスとWindows 8.1以降
またはMacOS 10.8以降のOSが必要となります。

【Windows】

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したWindowsPC

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したWindowsPC

■CPUクロック2GHz/メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

動作確認済みUSB3.0ホストインターフェイス

- Intel Z170チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- Frescologic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS (NEC) μ PD720200/202 USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご注意ください。

【Mac】

■USB3.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

■USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0ホストインターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。

USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

使用上のご注意

製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

SATA HDDの取り扱いについて

- HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
- SATA HDDの接続コネクタには、メーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

本製品からのOS起動に関して

本製品はOS起動には対応していません。

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDをむき出し＝「裸」のまま手軽に使用することを想定して作られています。

内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。

特に静電気やホコリに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDDを保管するときは高温多湿、ホコリの多い場所を避け、静電気防止袋等をご使用のうえ、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



HDDの組み込み方法

HDDを接続する前に



警告

HDDを接続するまで、ACアダプターはコンセントから抜いておいてください。コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。



注意

- 本製品のフレームやHDDコネクタ、基板等で手を切らないようにご注意ください。
- すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。
- HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷が付く場合があります。
HDDに傷が付いたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合があります。
HDDの出し入れはゆっくりと静かに行き、必要以上に傷が付かないように慎重にお取扱ってください。

※本製品はシリアルATA(SATA)HDD専用です。パラレルATA(PATA)は接続できません。



注意



SATAコネクタ



PATAコネクタ

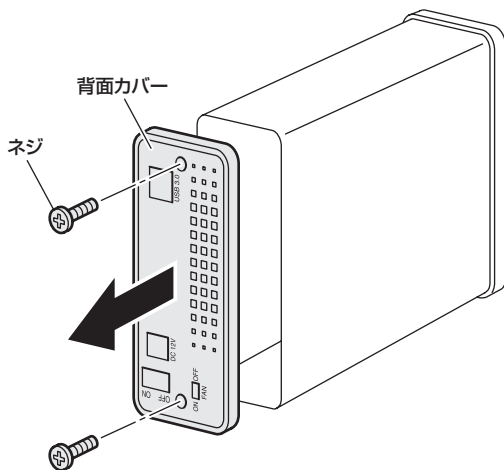
HDDの組み込み方法

HDDの取り付け方

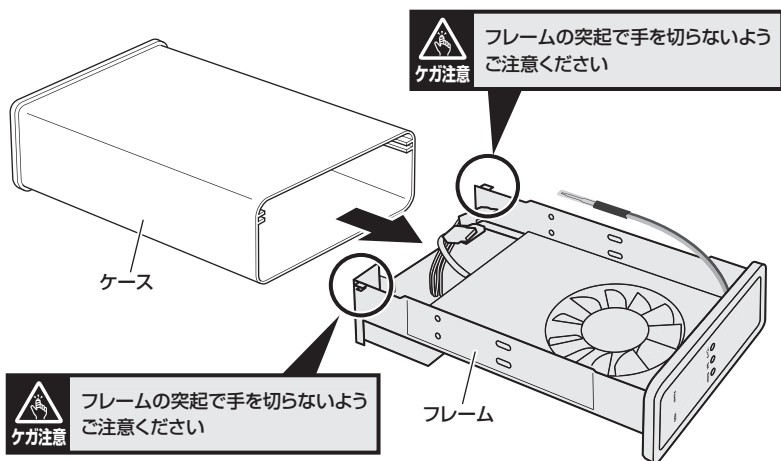
1

本体背面のネジ2本を外し、背面カバーを取り外します。

※作業にはプラスドライバー(1番)が別途必要になります。



- 2 ケースの中からフレームを取り出します。



注意

フレームの基板に絶縁のためのシートが貼られています。
はがさずそのままご使用ください。

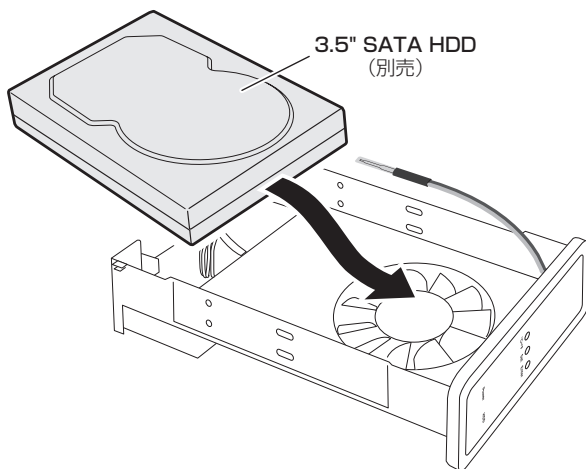
HDDの組み込み方法

HDDの取り付け方(つづき)

3

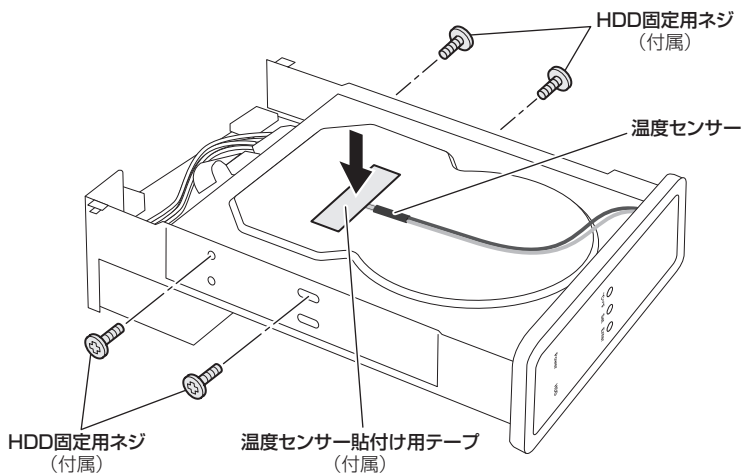
HDDにSATA電源ケーブル、SATAデータケーブルを接続し、フレームに取り付けます。

※ケースにHDDをネジ止める前に、各ケーブルを接続しておいてください。



4

付属のHDD固定用ネジでHDDを止め、温度センサー貼付け用テープでHDD表面に温度センサーを貼付けます。



HDDの組み込み方法

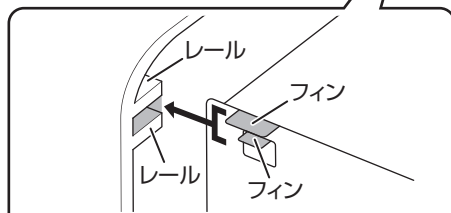
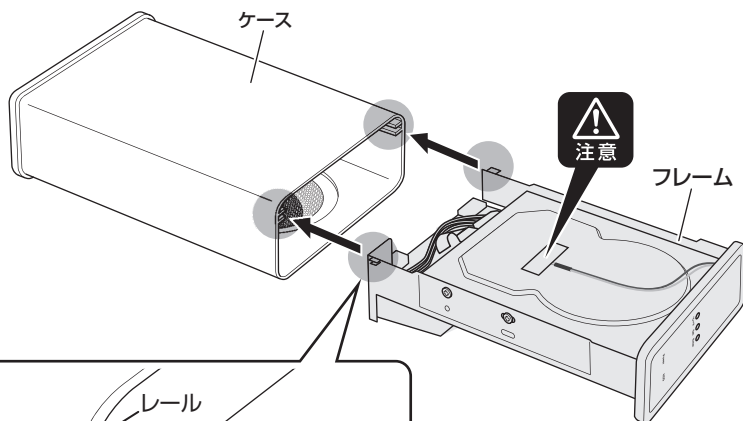
HDDの取り付け方(つづき)

5

ケースにフレームを差し込みます。

差し込む際はケースの向きにご注意ください。

ケースの吸気口とフレームの冷却ファンの位置が一致するように差し込まないと、冷却ファンの冷却効果が正常に発揮されません。



警告

- 2枚の金属のフィンを、レールのすきまに差し込みます。
- 正しく差し込まないと基板面がケースに接触してショートを起こし、基板や接続したHDDを破損するおそれがあります。



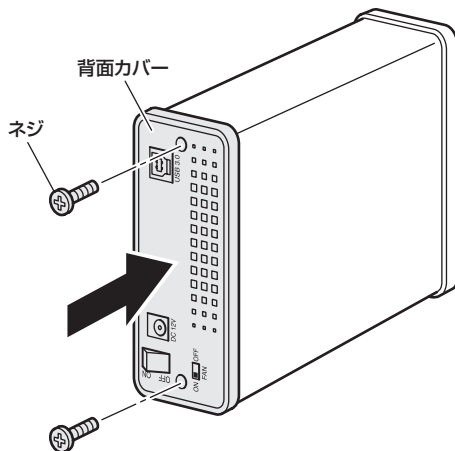
注意

フレームをケースに戻す際は、温度センサーや温度センサーのケーブルをはさまないように気をつけながら組み込んでください。

6

背面カバーをネジ止めして取り付けます。

※作業にはプラスドライバー(1番)が別途必要になります。



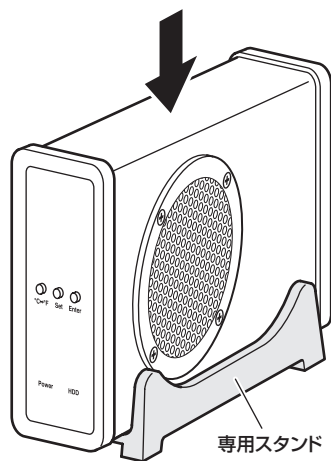
HDDの組み込み方法

HDDの取り付け方(つづき)

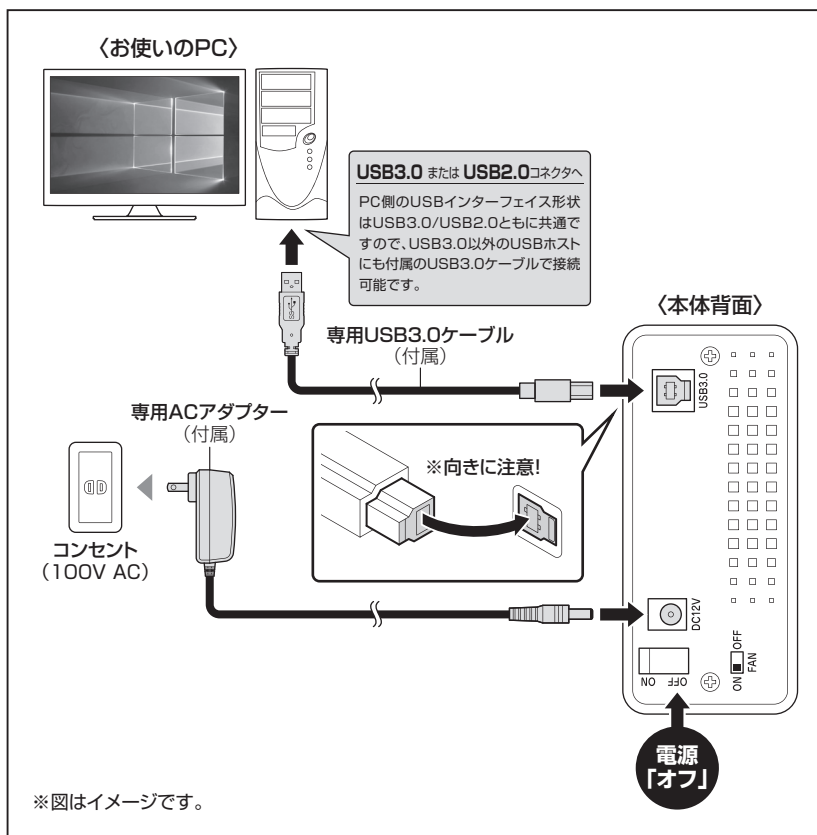
7

専用スタンドを取り付けて完成です。

※取り外す際は逆の手順をたどってください。



PCとの接続方法



※PCと接続後、P.28「電源の投入方法」をご確認のうえ、電源の投入を行ってください。



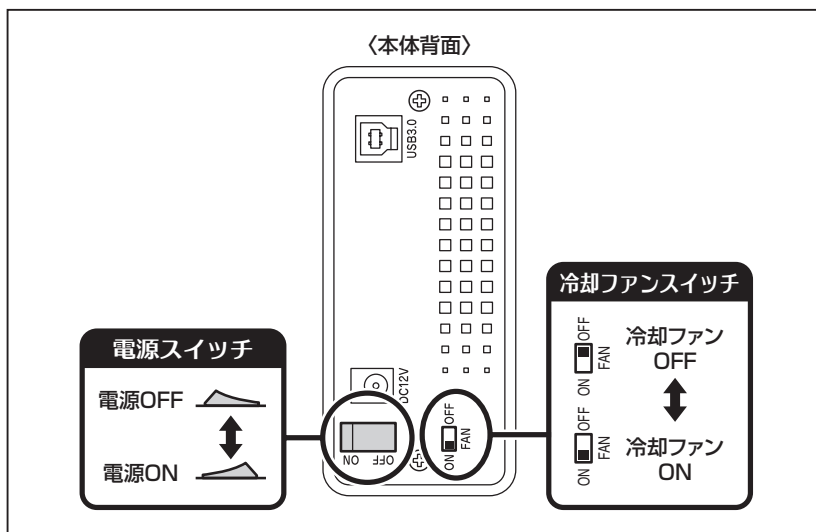
接続は必ず電源スイッチが「オフ」の状態で行ってください。
電源がオンの状態で接続を行うと、HDDが破損するおそれがあります。

電源の投入方法



電源の操作を行う場合は、必ず各ケーブルや接続機器に異常がないかどうかを確認してから作業してください。

	電源スイッチ	冷却ファンスイッチ
スイッチタイプ	シーソー式	スライド式
ON操作	電源が入ります	冷却ファンが回転します
OFF操作	電源が切れます	冷却ファンが停止します



- 冷却ファンは基本的に常時「ON」の状態でお使いください。OFFにすると冷却ファンの回転を止めることができますが、冷却効果が発揮されません。
- 電源OFF→電源ONを行うときは、電源をOFFにしたあと5秒程度待ってから電源をONにしてください。

PC電源連動機能について

PCの電源をOFFにすると、HDDの回転が停止します。

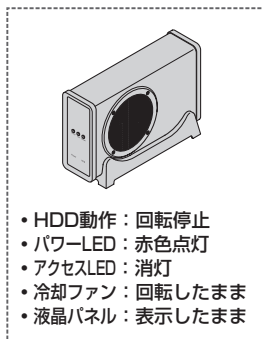
このとき、本体前面のパワーLEDは緑色に点灯、アクセスLEDは消灯します。

以降、PCの電源ON・OFFに合わせてHDDが回転・停止するようになります。

※本機能を無効にすることはできません。



PCの電源をOFF



以降、PCの電源ON・OFFに合わせてHDDが回転・停止します。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。

長時間ご使用されない場合は、本製品の電源スイッチをOFFにしてください。

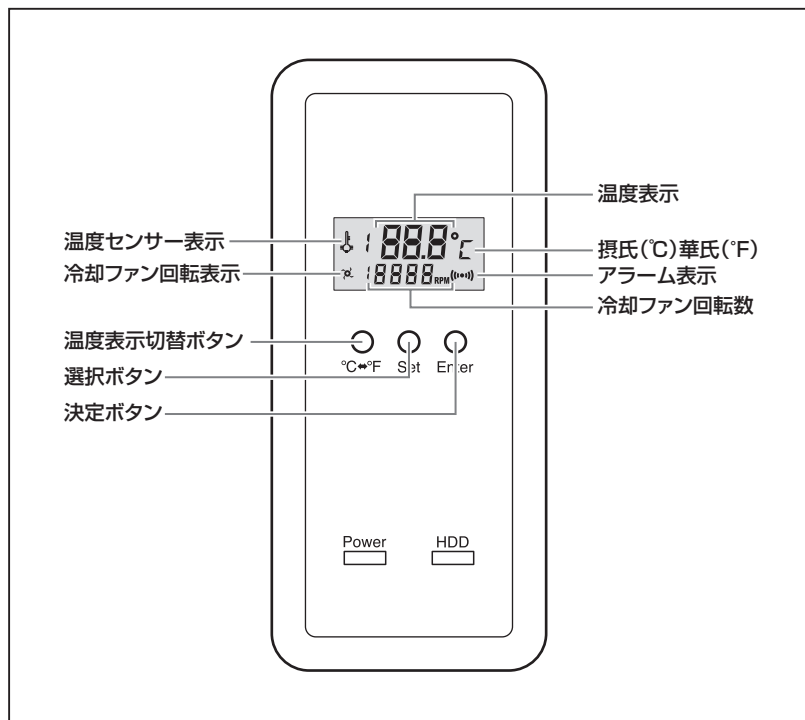
また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。

その際は手動で電源ON/OFFを行ってください。

温度表示/冷却ファン回転数表示機能について

液晶パネルの説明

HDDに貼り付けた温度センサーからHDDの現在温度を読み取り、前面液晶パネルに表示します。



- 温度表示…………… センサーから読み取った温度を表示します。
温度表示切替ボタン(°C↔°F)を押すことで、摂氏と華氏を切り替えることができます。
初期設定は摂氏(°C)です。
- 冷却ファン回転数 … 1分間に側面の冷却ファンが何回転しているかを表示します。
- アラーム表示…………… 温度アラームの設定(P.31)で設定した温度を越えると点滅します。

温度アラームの設定

指定した温度に達した場合にアラームが鳴るように設定することが可能です。

1 【決定ボタン(Enter)】を押すと、液晶パネルに現在の設定温度が点滅して表示されます。

2 設定温度が表示されている状態で【選択ボタン(Set)】を押します。
1回押すごとに設定温度が5℃ずつ上昇しますので、アラームを鳴らしたい温度に設定します。


※温度は30℃～70℃に設定可能です。

※アラーム設定温度を低く設定すると冷却ファンの回転数が高く、温度を高く設定すると冷却ファンの回転数が低くなります。

3 【決定ボタン(Enter)】を押すとその温度に設定され、通常の温度表示画面に戻ります。

※初期設定温度は60℃です。

～HDDが設定温度に達すると?～

①液晶パネルにアラーム表示()が表示されます。



②アラームが鳴ります(15秒間)。



③設定温度を越えた状態がそのまま維持されると、30秒後にふたたびアラームが鳴ります。



④温度が低下するか、設定温度を変更するまでくり返しアラームが鳴ります。

トラブルシューティング

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

認識されない

以下をお試しください。

- 各接続ケーブル、ACケーブル等を確認する。
- アクセスLED、パワーLEDが点灯しているか確認する。
- USB3.0ホストが正常に動作しているか確認する。
- PCによっては接続したままOSを起動すると認識しないものがあるため、USBコネクタを接続しなおしてみる。

新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】を参照して、初期化の作業を行ってください。

- Windowsでお使いの場合
→巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
- Macでお使いの場合
→巻末付録12【Mac OSでの使用方法(Mac OS 10.6~10.10まで)】
または、
巻末付録16【Mac OS 10.11以降でのフォーマット方法】
をご確認ください。

スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。

スリープ、スタンバイする前に取り外しを行ってください。

すでにデータの入ったHDDを接続したが、マイコンピュータにHDDアイコンが表示されない

内蔵専用のダイナミックディスク形式や特殊なフォーマット形式だった場合、そのまま使用できない場合があります。

この場合は元の装置にHDDを戻し、データのバックアップ後、再度本製品に接続してHDDの初期化を行ってください。

USB3.0接続時にUSB2.0として認識してしまう

本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。

本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、主電源スイッチをONにしてください。

USB3.0接続時、接続してしばらく経つと認識されなくなってしまう

USB3.0インターフェイス側のドライババージョンが古いと発生する場合があります。

ご使用のUSB3.0インターフェイスのドライバで、新しいドライバがリリースされていないかご確認ください。

また、設置場所やパソコン本体との距離などによっては、ノイズ等の影響を受ける場合がございます。設置位置を変えてみての動作もご確認ください。

2TBを超えるボリュームを初期化しようとする2TBで分割されてしまう

MBR形式の場合、1パーティションの上限が2TBまでとなります。

GPT形式にて初期化することで、2TB以上のパーティションを作成することが可能です。

トラブルシューティング

2TBのHDDを接続したのに、認識される容量が1.8TB程度になってしまう

計算方法の違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

• **1MB = 1,000,000バイト**

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

• **1KB = 1024 バイト**

• **1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト**

• **1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト**

• **1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024**

= 1,099,511,627,776 バイト

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみますと、

• **2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約1.8TB**

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が(ハードディスクドライブメーカーでは)一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

ルーターのUSBポートや、TVのUSBポートに接続したが動作しない

サポート対象外となります。

サポート対象外のOSおよび機器に関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等はご案内できません。

FAQ(よくあるご質問とその回答)

Q 使用できるHDDの最大容量は？

A

本製品をPCに接続して使用する場合、最大で12TB(テラバイト)までとなります。

最新の対応状況に関しては弊社WEBサイトをご参照ください。

Q 他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか？

A

基本的には使用可能ですが、以前ご使用いただいていた環境によってはご使用に出来ない場合があります。

ご使用に出来ない場合は、フォーマットを行う必要があります。

不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q HDDにアクセスしていないのに、アクセスLEDが点滅します。故障ですか？

A

ウイルススキャンや各ソフトのアップデートチェック、インデックス作成等、OSのバックグラウンド処理で本製品のHDDにアクセスする場合があります。

Q 30分以上経ってもHDDのフォーマットが完了しません(Windows)

A

HDDのフォーマット時、「クイックフォーマット」を選択せず通常のフォーマットを選択すると、フォーマットに時間がかかります。

フォーマットを短時間で完了させたい場合は「クイックフォーマット」を選択してください。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

FAQ(よくあるご質問とその回答)

Q Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A

サポート対象外となります。
サポート対象外のOSに関しては弊社で動作確認を行っておらず、ご使用に関しては自己責任での範囲となります。
ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q S.M.A.R.T情報が表示されない

A

S.M.A.R.Tを参照するソフトによって対応が大きく異なり、表示できるものとできないものがあるようです。
弊社では表示に対応しているツールの提供はございません。

Q OSの起動は可能ですか？

A

OS起動はサポート対象外とさせていただきます。
あらかじめご了承ください。

Q 横置きでの使用は可能ですか？

A

本製品は『縦置き専用』です。
横置きでの使用は推奨いたしません。

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット…………… 巻末付録2
- ハードウェアの取り外し手順 …………… 巻末付録10
- MacOSでの使用方法(MacOS 10.6~10.10まで) …… 巻末付録12
- MacOS 10.11以降でのフォーマット方法…………… 巻末付録16

!ご注意ください!

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。



この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7の場合

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

[Windows 10]

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows-10-format.html>



[Windows 8.1]

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows8-format.html>

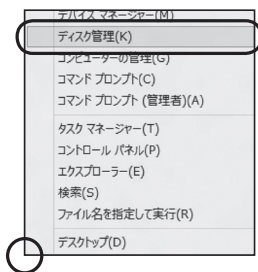


[Windows 7]

<http://www.century.co.jp/support/faq/windows7-format.html>



1.



□Windows 10 / Windows 8.1

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

その後は手順.3にお進みください。



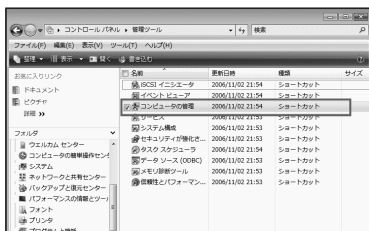
□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

領域の確保とフォーマット

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

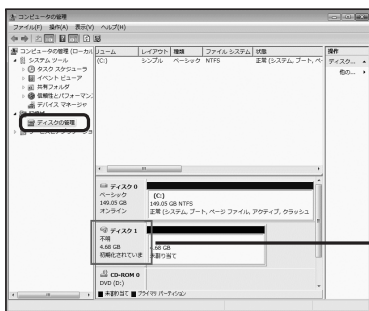
※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。

システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

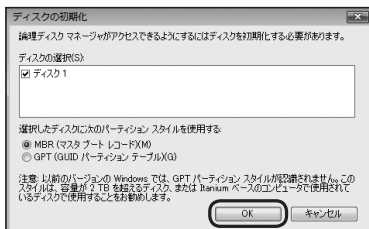
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いがないかを確認して【OK】をクリックします。

5.

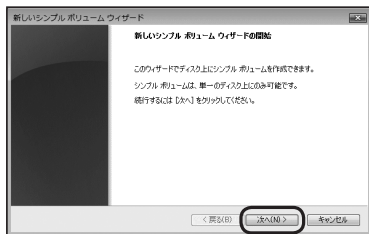


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

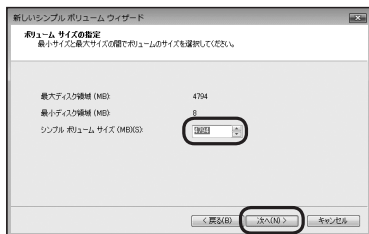
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB(メガバイト)単位でボリュームサイズを指定します。

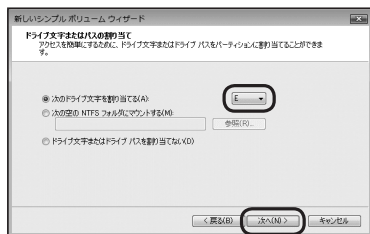
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

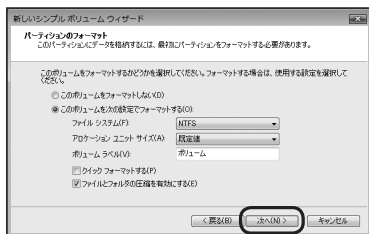
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- **ファイルシステム**

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- **アロケーションユニットサイズ**

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、既定値を選択します。

- **ボリュームラベル**

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- **クイックフォーマットする**

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからないかわりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**

このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

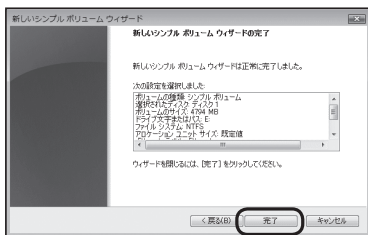
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

領域の確保とフォーマット

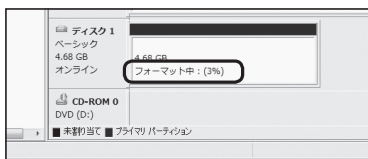
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

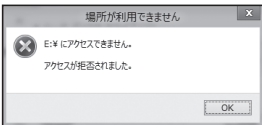
テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとする
と警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、
ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しない
でください。故障の原因となります。

MEMO

ハードウェアの取り外し手順

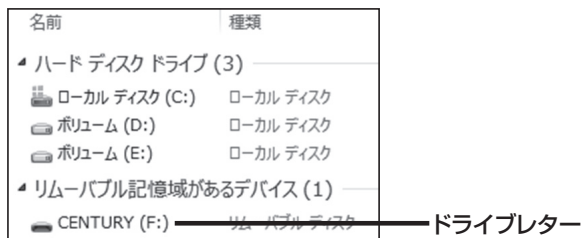
本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※製品の中に組み込んだHDDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフしてから行ってください。

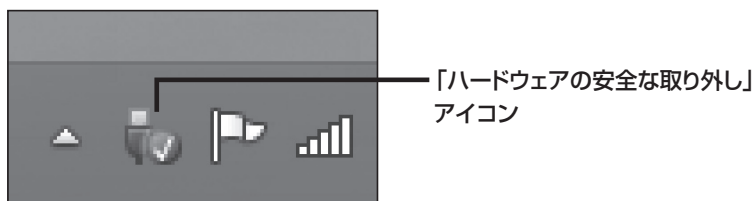
※画面はWindows 8.1のものになります。

他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

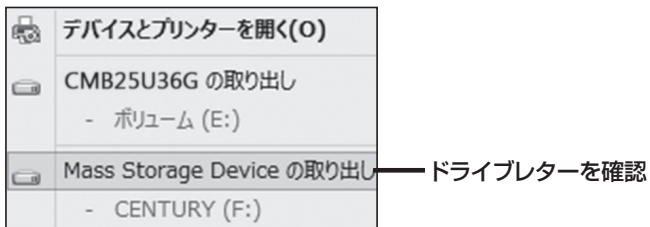
1. 「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。
例：ドライブ (F:) を取り外す場合



2. タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

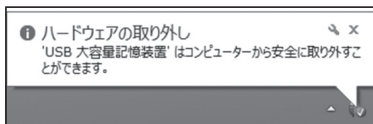


3. 手順1で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

4. 取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



MacOSでの使用方法(MacOS 10.6~10.10まで)

本項では、MacOSに新しいHDDを接続した際のフォーマット方法を説明します。

※MacOS 10.11以降でフォーマットを行う場合は、巻末付録16【MacOS 10.11以降でのフォーマット方法】をご参照ください。



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

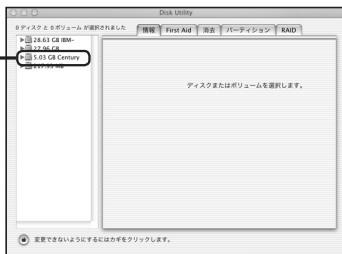
●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-format.html>



1.



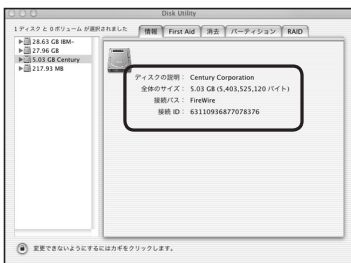
容量が一致する新しいHDD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- **ボ リ ュ ー ム 情 報** : ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- **名** 前 : 作成するボリューム名を変更できます。
変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- **フ ォ ー マ ッ ト** : 作成するボリュームのフォーマットを選択します。
MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。
通常は MacOS標準かMacOS拡張を選択してください。
- **サ イ** ズ : 作成するボリュームのサイズを変更できます。
- **オ プ シ ョ ン** : MacOS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、MacOS 9で動作するドライバをインストールします。
- **分** 割 : 選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- **削** 除 : 選択されているボリュームを削除します。
- **元** に 戻 す : 直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」を
クリックします。

5.



フォーマットが完了すると、デスクトップ
にHDDアイコンが表示されます。

取り外しをする場合は、このアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

MacOS 10.11以降でのフォーマット方法



安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDDがある場合は、あらかじめ取り外しを行い、新しいHDDのみを接続してください。

●WEBにてフォーマット方法の動画解説があります。ご参照ください。

【Macでのフォーマット方法(OS X El Capitan以降[MacOS 10.11~])】

<http://www.century.co.jp/support/faq/mac-osx-el-capitan-format.html>



1.



フォーマットされていないディスクを接続すると、メッセージが表示されますので、「初期化...」をクリックすると、ディスクユーティリティが起動します。

※手動でディスクユーティリティを起動する場合は、アプリケーション>ユーティリティ>ディスクユーティリティを選択してください。

2.



ウィンドウ左側「外部」の下に接続されているディスクが表示されますので、フォーマットするディスクを選択します。

※フォーマットするディスクの容量等を確認して間違いがないか確認してください。

※macOS High Sierra(MacOS 10.13)で外部ディスクが表示されない場合は、表示メニューの「全てのデバイスを表示」を選択し、ディスクユーティリティを起動し直してください。

MacOS 10.11以降でのフォーマット方法

3.



① ウィンドウ上部にある「消去」ボタンをクリックすると、シートダイアログが表示されますので設定を確認します。

【名前】…ディスクの名前を入力します。

【フォーマット】…通常は「OS X 拡張(ジャーナリング)」を選択してください。

※macOS High Sierra(MacOS 10.13)では「MacOS拡張(ジャーナリング)」を選択してください。

また、APFSでフォーマットを行うと、macOS Sierra(MacOS 10.12)以前のOSでは読み込みできなくなりますのでご注意ください。

【方式】…通常は「GUIDパーティションマップ」を選択してください。

※MacとWindows両方で利用したい場合は、フォーマットを「MS-DOS(FAT)」または「exFAT」、方式は「マスターブートレコード」を選択してください。

「MS-DOS(FAT)」は2TBより大きな容量のディスクでは利用できません。

exFATはOSのバージョン(過去のバージョン等)によっては、対応していない場合があります。

② 「消去」ボタンをクリックすると、フォーマットが開始されます。

4.



完了のシートダイアログが表示されればフォーマット完了です。

MEMO

サポートのご案内

■販売・サポート

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市トヨフタ(十余二)249-329

☎ 04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

[FAX]04-7142-7285

[Web]<http://www.century.co.jp>

[Mail]support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

「センチュリーサポート」へご相談の際は…

製品型番

CLS35U3BKF6G

CLS35U3SVF6G

を言ってね!

コンピュータは読み方が
変な用語がいっぱい!

SATA?

えすえー
ていーえー?

読み方が判らない場合は
そのままアルファベットを読み上げてね!



パソコンや商品をご用意した上で
お電話いただくとスムーズにいきます。

— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたですが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.



アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

<http://www.century.co.jp/support/contact/questionnaire.html>